

県民の皆さんへ

「平成 30 年版 成果レポート～成果の検証と改善に向けた取組～」を公表します。

この平成 30 年版成果レポートは、平成 29 年度に「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」に基づき取り組んだ事業の成果を検証するとともに、平成 30 年度の取組の方向とめざす目標値を、県民の皆さんにご報告し、今後の県政運営に対するご意見やご提案をいただくことを目的に作成しました。

平成 29 年度は、4 月 21 日から 5 月 14 日まで開催された「第 27 回全国菓子大博覧会・三重（お伊勢さん菓子博 2017）」をはじめ、伊勢志摩サミット開催 1 周年の節目となる 5 月 26 日に伊勢志摩サミット記念館「サミエール」が賢島駅にオープンするなど、本県の魅力を広く発信することができた 1 年でした。

一方で、10 月に発生した台風第 21 号、第 22 号により、県内各地で甚大な被害が発生し、県民生活に大きな影響がありました。被災された皆さんが、一日も早く普段の生活を取り戻せるよう、国や市町、関係機関と連携し、全力をあげて取り組んでいます。

平成 30 年度は「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」の後半に入ります。また、「平成」という元号が 1 年間続く最後の年度となります。「平成」から次の新しい時代に橋渡しをする節目の年度であり、県民の皆さんが将来に夢や希望をもてるよう、未来志向で取り組んでいくことが重要です。

こうしたことをふまえ、「平成 30 年度三重県経営方針」では、注力する取組として、「三重で学び働く～人材育成・確保と働き方改革～」、「三重で育む～全ての子どもが希望とチャンスをつかむ社会的支援～」、「三重を強く豊かに～防災・減災対策とインフラ整備～」、「三重で生きる～安心を提供する医療・介護・福祉の充実～」、「三重で躍動する～人が輝くスポーツの推進～」、「三重が選ばれる～地域力・営業力のさらなる強化～」の 6 つの柱を掲げています。

厳しい財政状況の中ではありますが、県民の皆さんや市町等と連携しながら、三重県経営方針に掲げた平成 30 年度に注力する取組をはじめ、県政の諸課題にしっかりと取り組み、県民の皆さんに成果を届けていきたいと考えていますので、忌憚のないご意見をいただくとともに、今後の県政運営に対する一層のご理解とご協力をお願いいたします。

平成 30 年 7 月

三重県知事 鈴木 英敬